

令和2年度 北海道行動援護従業者養成研修講師一覧

講師名	所属	専門分野	略歴・業績等
黒川 新二	黒川メンタルクリニック 院長	児童精神医学 自閉症医療 (強度行動障がい薬物療法)	兵庫県こども病院精神科医長、北海道立精神保健センター研究調査部長、市立札幌病院静療院児童診療センター担当部長(札幌のぞみ学園園長兼任)を経て平成25年4月クリニック開業。日本の行動障がいをとまなう自閉症の人たちへの医療的なケアの道筋を切り開く
箭内 宏行	YES Care Project 専務取締役統括部長	行動援護の実践	入所施設にて約20年間、強度行動障がいのある方への支援に携わった後、重度の障がい者から高齢者まで地域の中で幅広い支援を展開している現法人の運営役員に就き、事業の拡大に取り組む。そのため、経営や制度への理解が深い。その一方で日々行動援護ヘルパーとして実際の支援にも携わっている。事業所間のよこのつながりを担う「さっぽろ行動援護ネットワーク」代表も務める
平木 恵	YES Care Project 係長	行動援護の実践	12年間入所施設に勤務し、そのうち約8年間、強度行動障がいのある方への支援に携わる。その後、重度の障がい者から高齢者まで幅広い支援を展開している現法人に勤務し、主に行動援護ヘルパーとして様々なケースに関わる。家庭や他事業所等と連携や支援の実績が豊富である
古野 利明	北海道ケア・サポート 代表取締役	行動援護の実践	高齢者の支援に関わった後、強度行動障がいをもつ自閉症児・者の早期療育から学齢期及び成人期における児童デイサービス及び生活介護事業所にて現場経験とヘルパー等幅広い分野の経験を積んでいる。現在は、発達障がい児・者を対象とした幼児～学齢期～成人期迄の事業所を展開している現法人の運営役員として全体的な調整業務を行っている
長谷川 秀和	北海道ケア・サポート 取締役 児童支援部門 統括	行動援護の実践	前職では小規模作業所、通所授産施設、就労支援継続B型で障がいのある方の就労支援を職業指導員として支援。その後、現法人では居宅支援事業所のサービス提供責任者、放課後等デイサービスの管理者兼児発管として携わる。4年前から統括(児童分野と行動援護及び移動支援等)の役割も担いつつ、行動障がいのある発達障がい・知的障がい・重症心身障がいの方の支援実践を続けている
北原 裕之	北海道ケア・サポート 取締役 地域支援部門 統括	自閉症支援	前職では、高等養護学校の寄宿舎指導員を行い、高校生の身辺や生活スキル向上の支援を行う。現法人では、生活介護事業所の管理者を務め、ショートステイ、グループホームの立ち上げに携わる。現在は、成人部門の統括の役割も担い、行動障がいのある発達障がい・知的障がい・重症心身障がいの方の支援、地域部門の調整業務やスタッフの育成に務めている
新居 慶英	北海道ケア・サポート 居宅支援事業所らいとくらぶ 管理者	行動援護の実践	精神障がい者の支援に携わった後、知的障がい者の支援に従事し、重度の知的障がい者、高齢の知的障がい者、自閉症者の支援を経験する。平成25年から居宅介護事業所勤務にて行動障がいのある自閉症児者の外出支援に取り組む。また重症心身障がい者の支援にも取り組み、経験の幅は広い
白川 栄義	あむ 居宅介護等事業ばでい 管理者	行動援護の実践	小規模共同作業所職員として約4年間、地域の障がい者支援に携わり、その後重度の障がい者のヘルパーとして訪問、外出支援を約7年行う。生活介護事業のサービス管理の経験も積み、現在は行動援護等の管理者とヘルパー業務を兼任している。行動障がいのある自閉症者から重症心身障がい者の支援まで経験の幅は広い。「さっぽろ行動援護ネットワーク」副代表も務める
小池 亜希	草の実会 草の実スイッチ 管理者	行動援護の実践	通勤寮やグループホームで8年間、知的障がい者や精神障がいの方の生活と就労の支援に携わる。現法人ではグループホームのサービス管理責任者、地域活動支援センター管理者、相談室の相談支援専門員を経て、行動援護、移動支援のヘルパー事業所にて現在管理者、サービス提供責任者として日々楽しくをモットーに利用者さんの生活支援に携わる
佐藤 忠峰	Colors 代表	行動援護の実践	支援費制度からヘルパーを始める。外出余暇をメインとする移動支援、行動援護を13年。学童期から成人期に至るまでのライフステージに沿ったサポートに何よりのやりがいを感じつつ、その魅力を発信していきたいと考えている。その風貌から「ゴリ」というミドルネームで業界に名を轟かせている。好きな言葉は「いいものはいい」。札幌市内で妻と2人の子どもと2匹のネコと暮らす
勝山 陵	Colors 管理者	行動援護の実践	支援費制度からヘルパーを始める。外出余暇をメインとする移動支援、行動援護を13年。利用者さんの「想い」を第一に考え、それをどうやったら実現できるか?を一緒に考え、実行することにヘルパー業務のやりがいを感じている。他には、住居リーダーも兼務して、利用者さんとスタッフと「暮らし」も考えてる
田村 元基	スポットウォーキングさっぽろ 就労支援事業所すぱっと 職業指導員	行動援護の実践	生活訓練支援員を2年勤め、精神、知的、発達障がい者のサポートを行ったのち、ヘルパーとして現在まで6年、主に行動援護、移動支援を通じて地域での余暇支援を拡大する一方、身体障がい者の生活支援、函館での事業所設立にも携わる。現在は就労支援事業所にて職業指導員として勤務
山口 ゆか	ひなた 代表理事	行動援護の実践	福祉系の大学を卒業したあと、B型の施設で生活指導員として6年働く。その後ガイヘルの仕事に出会い、衝撃を受ける。『利用者さんも楽しい!働くスタッフも楽しい!』を第一に14年間ガイヘルを日々楽しんでいる。ヘルパーの養成学校でも講師として勤務
中幡 恵太	パーソナルサポートセンターばけっと 副主任	行動援護の実践	学生時代から居宅介護事業所でヘルパーとして活動、その他特別支援学校でのボランティア活動などで発達障がい児の支援に関わっている。現所属法人では、3年間グループホームでの支援を経験し、現在は行動援護ヘルパーとして主に強度行動障がいのある方へのサポートを行っている
西尾 大輔	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 所長	自閉症支援	元特別支援学校教員。発達心理学および自閉症について専門的に学びを積み重ねるとともに、現職業務を通じて福祉・教育・労働・医療等の様々な機関へのコンサルテーションや専門職向けの研修講師を務める
坂井 翔一	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 課長補佐	自閉症支援	大学でのボランティア活動で児童から高齢者に渡る幅広い支援に関わり、ヘルパーや児童デイ支援員として経験を重ね、現在は自閉症など発達障がい児者への相談や支援機関との連携、スーパーバイザー、コラボレーターなど地域の多様な相談に対応する。研修の企画運営、講師としても活躍中
多田 裕美	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 発達障害者地域支援マネジャー	自閉症支援	前職では教育センターにて3年間、相談業務の補助を経験。主に就学後の子どもたちの心理判定に携わる。現在は様々な支援機関へのコンサルテーションや地域にある多様な相談を受け、必要な機関とのネットワーク作りを行なっている
石田 昭人	札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 発達障害者地域支援マネジャー	行動援護の実践	行動援護従業者として長年の現場経験と行動援護従業者養成研修講師の実績がある。他、発達障がい者支援センターや生活介護事業所等にて、主に自閉症の方の地域生活支援に関わる、就労、療育、相談支援等の現場経験がある。現在地域支援マネジャーとして、行動援護事業所等を含めた機関支援を困難ケース中心に担当している。札幌市発達障がい者支援地域協議会委員も務めている